

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第246号 2024年11月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



自然塾で植物標本づくりを行いました

10月20日(日)の自然塾では「植物標本づくり」を行いました。講師はビジターセンターの職員西尾公兵さんです。塾生たちは、植物標本をつくる意味や標本のつくり方に関する講義を受けた後、ビジターセンターの周りに生えている植物を採取し、講師の説明を聞きながら標本づくりを行いました。今後、家では新聞紙を数回交換して水分を取り除き乾燥させると、きれいな標本ができあがります。



講義のようす



植物を根から採取



土や汚れを落とす



新聞紙ではさむ



もう一枚重ねてはさむ



さらに段ボールではさむ



スケッチ



植物標本

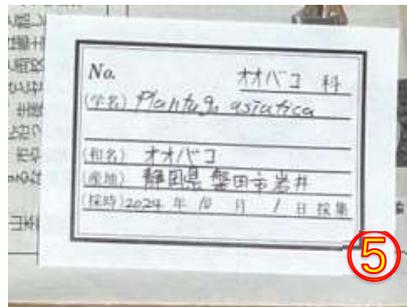
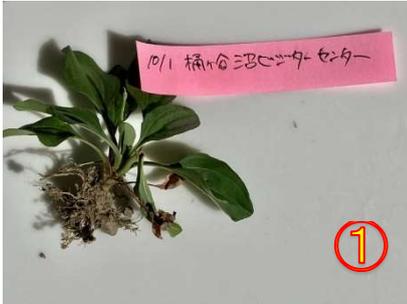
スケッチより植物標本の方が細かいところまでわかるね

<特徴>

スケッチ…手早く簡単だが特長が把握できず、信ぴょう性が低い。
植物標本…細かいところまでわかり、証拠として残すことができる。

あなたも植物標本づくりに挑戦しませんか・・？

植物標本づくりは「難しそうだなあ。」と思うかもしれませんが、丁寧に乾燥用新聞紙の交換を行えば、意外と簡単にできます。去年のNHKの朝ドラ「らんまん」の主人公のモデルであった牧野とみ太郎さんも同じような方法で全国各地で採取した植物を標本化し、新種を発見・命名するなど独学で植物学を極め「日本植物学の父」と言われるまでになりました。植物標本づくりの手順を紹介いたします。あなたも挑戦してみませんか？



- ① 植物を採取する。新聞紙の1/4程度の大きさより小さいものが扱いやすい。できれば根から採取すると良い。植物の名前、採取日時、場所をメモしておくようにする。
- ② やさしく水で洗い土や汚れを落とし、さらにキッチンペーパーでやさしくふいて、水分、ゴミ、土を取り除いてきれいな状態にする。
- ③ 植物の形を整え、できればすべての葉が表を向くようにそろえ、二つ折りにした新聞紙の片方におき、もう一方を重ねる。
- ④ ③をさらにもう一枚の新聞紙で同じようにはさむ。最初のうちなど水分が多いときは新聞紙の枚数が多いほど良い。1日経ったら新聞紙を交換する。交換後2回目は2日後にかえる。3回目は3日後にかえる。その後は水分にもよるが、3日に1回かえる頻度にする。おおよそ半月ぐらい新聞紙の交換をする。水分が抜けて完全に乾燥したら完成となる。使用した新聞紙は、乾かして再利用すると良い。
- ⑤ 標本の番号（採取した場所の何番目かや種類別でも可）、科、学名（自分で調べましょう）、和名、産地、採取日時を記述したラベルを作る。
- ⑥ 新聞紙にそのまま標本とラベルを貼ってもいいが、画用紙やボール紙などの台紙に貼ると標本らしくなる。茎のところどころを、5mm×20~30mm程度に切った紙に水のみをつけて固定する。完成した標本は、ケースに入れて直射日光が当たらない湿気の少ない場所で保管する。虫食いを防ぐため防虫剤をケースに入れると良い。